

海外生活 エッセー

シドニー事務所

豪州の魅力を感じ大陸横断鉄道の旅

(一財)自治体国際化協会シドニー事務所 所長補佐 菅原 亨 (栗原市派遣)

→ 広大な豪州大陸

大陸全体が一つの国であるという唯一の国、オーストラリア。その面積は約 770 万 km² で、約 38 万 km² の国土を持つ日本の約 20 倍、6 大陸中最小といってもヨーロッパをすっぽり飲み込むほどの広さを誇ります。

その広大さから、都市間の主な移動手段は飛行機です。主要都市シドニーとパース間は飛行機ですら約 5 時間も要します。病院から遠く離れた地域の患者を小型飛行機で移送する航空救急サービスが世界で初めて実施されたのも、同国ならではです。

→ 大陸横断鉄道の旅

乗車時間も移動距離も長い不便な鉄道の旅はとうの昔に廃れましたが、今なお愛され、世界でも有数の人気を誇る 2 つの豪華な長距離鉄道があります。

豪州でもっとも有名な列車は、南氷洋に面した都市アデレードと南太平洋の玄関口であるダーウィン間 2,979km を 2 泊 3 日で結ぶ、大陸縦断鉄道ザ・ガン号。

それと同様に人気なのが、インド洋側のパースと太平洋岸のシドニー間 4,352km を 3 泊 4 日で結ぶ、豪州最長距離の



平均 30 両編成で全長 774m、総重量 1,400t にもなる列車

大陸横断鉄道インディアン・パシフィック号です。

シドニーに住み始めて半年が経過し、オセアニア最大の都市で快適な生活を満喫していますが、ここは豪州大陸のほんのちっぽけな一地域に過ぎません。豪州で仕事をするにあたり、この大陸のことをもっと知りたいとい

う想いから、途方もない長距離を旅するインディアン・パシフィック号に乗車することにしました。

高層ビルが林立する大都市から離れると、車窓から眺める風景は刻々と変わり、豪州大陸ならではの美しくも厳しい大自然と壮大な景色、野生動物などに出会えます。

豊かな農場が広がる緑の多い沿岸部、大陸内部に果てしなく横たわるアウトバックと呼ばれる荒涼とした赤土地帯、無数のカン



アウトバックと呼ばれる荒涼とした赤土地帯

ガルーや羊、荒野のナラボー平原を横切る世界で最も長い 478km に及ぶ一直線の線路、人口わずか 4 人と

境の地クック、息を呑むような美しい朝日と夕日、絶景の世界遺産ブルーマウンテンズ、カルグーリーにある世界で最も大きい露天採掘の金鉱など、非日常を味わう旅というより、もはや冒険と呼べる領域です。

列車内では通過する土地で採れた食材をふんだんに使った豪華な料理と豪州名産のワインを味わうことができます。世界各国からの乗客との会話と豪州らしいゆったりとした時間の流れを楽しみ、明るい乗務員の温かいおもてなしを受けながら、この雄大な大陸の持つ魅力を五感で体感すれば、目的地に到着する頃にはまだまだ乗っていたい気持ちになりました。今回の旅を終えて、豪州大陸をますます好きにならずにはいられませんでした。

シドニー事務所 Facebook
<https://www.facebook.com/clair.syd/>